

吉野川の概要

吉野川は、その源を高知県吾川郡の瓶ヶ森(標高 1,896m)に発し、四国山地に沿って東に流れ敷岩において穴内川を合わせ北に向きを変えて四国山地を横断し銅山川、祖谷川等を合わせ、徳島県池田において再び東に向かい、岩津を経て徳島平野に出て、大小の支川を合わせながら第十地点で、旧吉野川を分派し、紀伊水道に注ぐ、幹川流路延長194km、流域面積3,750km² の一級河川です。

その流域は、四国4県、12市15町1村にまたがり四国全域の約20%に相当する広さを持ち、下流域には徳島県の拠点都市である徳島市を擁し、この地域における社会・経済・文化の基盤を形成しています。流域の土地利用は山林が約79%、水田や畑地等の農地が約15%、宅地等の市街地が約5%、河川等が約2%となっています。本川の池田より上流の大歩危・小歩危で一大渓谷を造り池田～岩津間は谷底平野が形成されている岩津～河口は広大な徳島平野が広がっています。



吉野川流域図